

新報

# サイテクリョーに大歓声

## 芸能まつり 御坊祭の上組が東京で披露

日本各地の伝統芸能が一堂に会する第17回地域伝統芸能まつりが26日、東京都渋谷区のNHKホールで開催され、御坊祭の上組が初出演した。力強い幟差し、華麗な獅子舞、御坊祭の代名詞でもある勇壮な四ツ太鼓や屋台を披露。若衆は威勢のいい掛け声を響かせ、見事に「サイテクリョー」を決めると、2400人の観客からは大歓声と拍手が湧き起こり、迫力満点のパフォーマンスに酔いしれていた。

地域伝統芸能まつり69演目が披露されては、地域の伝統文化等おり、うち和歌山県を保存・継承しているのは第7回で和歌山市日本各地の伝統芸能が木ノ本の獅子舞が出演集まって演目を披露して以来10年ぶり2団のイベントで、平成12体目。日高地方からは年度から開催されてい初めて。これまで全国の1



御坊祭一番の見どころ「サイテクリョー」

演しており、上組は2会場から「おおー」と大きな歓声が上ががり、力のは、幟差し、獅子舞、自慢の技に引き込まれた。獅子舞では、笛の音高約12尺の五反幟を色と太鼓のリズムに合せて華麗に舞う獅子

の動きに酔いしれていた。メインの四ツ太鼓は、奴姿の若衆らの「ヨンヨイ」の掛け声とともに勢いよく引いて登場。高々と持ち上げ、4人の乗り子がそり返る「サイテクリョー」を披露。四ツ太鼓と屋台が競演する庄巻のパフォーマンスに、観客も興奮して見入っていた。演目後、司会進行を務めていた女優の竹下景子さんが「なぜ乗り子を肩車しているのですか？」と質問する場面もあり、「乗り子は神の子どもなので、地面に触れないように肩車をしています」と答えた。乗子の子のまとめ役を務めた田淵柊登君(11)は

「たぐさんの人が見ていて緊張したけど、サイテクリョーの所で拍手とか『わーっ』っていう歓声が聞こえてきて、気持ちよかったです」と興奮。行司代表の岩淵貞美さんは「御坊祭を忠実に再現するために、地域伝統芸能まつりのスタッフさんがわ

たしたちの要望一つ一つに協力してくれた。東京の皆さんが感動してくれてうれしい」と達成感たっぷり話していた。

演目の様子はEテレで3月18日午後3時から放映される予定で、御坊祭の魅力を全国に発信する機会となりそうだ。